

事業目的・背景・課題

訪日外国人旅行者6,000万人、訪日外国人旅行消費額15兆円の実現に向けて、スノーリゾートは地方での長期滞在や消費拡大に向けての有力なコンテンツ。スキー・スノーボードを楽しむ訪日外国人旅行者が増加する中、スノーリゾートへのインバウンド需要をタイムリーかつ的確に取り込み、地方へ誘客するため、インバウンド需要を取り込む意欲・ポテンシャルの高い地域における国際競争力の高いスノーリゾート形成のための取組を促進する。

事業内容

○地域の関係者が一体となって策定した「国際競争力の高いスノーリゾート形成計画」の実現に向けた以下の取組を補助。

・スキー場インフラの整備

- 索道施設（ゴンドラ・リフト）の撤去・新設※
- 搬器の更新（機能向上分）
- スノーエスカレーターの導入
- 高機能な降雪機の導入
- ICゲートシステムの導入
- レストハウス等の改修・撤去
- リフト乗車補助具の導入

※既存ゲレンデ内にあつては、高付加価値化に資するものに限る。

- ・スノーコンテンツやアフタースキー・グリーンシーズンのコンテンツの造成
- ・受入環境整備（多言語対応、Wi-F整備、キャッシュレス、スキーヤー向け設備、DX対応等）
- ・外国人対応可能なインストラクターの確保
- ・二次交通の確保（スキー場間の周遊のためのバス運行等の実証実験）
- ・情報発信（プロモーション素材の作成等）

等

事業イメージ

国際競争力の高いスノーリゾートの姿

○快適性・満足度の高いゴンドラ・リフト



快適性の高いゴンドラ

○高機能な降雪機の導入による明確な営業期間



高機能な降雪機

○地域の観光資源も活かしたスキー以外の「非日常体験」

「自然」・「食」・「文化」等を活かし、日本ならではのアフタースキー・グリーンシーズンのコンテンツを創出。

スキー場

国際水準のスケール
世界に誇る雪質

ベースタウン

観光地としても魅力ある滞在環境

○長期滞在客の利便性向上

○ストレスフリーな旅行環境

（例：エリア一帯での共通リフト券（ICゲート）、利用しやすい二次交通、上質な休憩施設（レストハウス・トイレ）、案内板の多言語表記、Wi-F整備、事前決済・キャッシュレス対応、ガイド等）



多言語自動発券機

事業スキーム

・事業形態：間接補助事業（補助率 1/2）

（※補助上限：スキー場インフラの整備について、個別事業1件につき3億円。ただし、ICゲートシステムの導入については、スキー場1か所につき1,200万円。）

・補助対象：国→民間事業者→DMO、民間事業者等

・事業期間：令和2年度～